

## 記入例 | 月額変更届

令和 6 年 7 月 1 日提出

提出者記入欄	健康保険 事業所記号	9 9 9
	厚生年金保険 事業所整理記号	
	〒 111 - 1111 事業所所在地	東京都〇〇区〇〇町1-2-3
	事業所名称 事業主氏名	〇〇〇〇 株式会社 代表取締役社長 〇〇 〇〇〇
電話番号	03 ( 1234 ) 5678	
		社会保険労務士記載欄   氏名等

項目名	① 被保険者整理番号		② 被保険者氏名		③ 生年月日		④ 適用年月		⑦ 個人番号等 (70歳以上被用者)	
	⑤ 従前の標準報酬月額		⑥ 従前改定月		⑦ 昇(降)給		⑧ 遡及支払額		⑩ 備考	
	⑨ 給与 支給月	⑩ 給与計算 の基礎日数	報酬月額		⑭ 総計					
⑪ 通貨によるもの			⑫ 現物によるもの	⑬ 合計 (⑪+⑫)	⑮ 平均額	⑯ 修正平均額				
1	①	12	② 健康 三郎		③ 5-601205		④ 6 年 7 月		⑩ 1. 二以上勤務 2. 短時間労働者 (特定適用事業所等) ③ 昇給・降給の理由 ( 定期昇給 ) 4. 昇(降)給差の月額 ( 円 ) 5. その他 ( 円 )	
	⑤	健 0200 千円	厚 0200 千円	⑥ 5 年 9 月	⑦ 4 月 ①昇給 ②降給		⑧ 月 円			
	⑨	4 月 30 日	240,000 円	0 円	⑬ 240,000 円		⑭ 720,000 円			
	5 月 31 日	240,000 円	0 円	240,000 円		⑮ 240,000 円				
6 月 30 日	240,000 円	0 円	240,000 円		⑯ 円					

記入方法 | 記入例を参考に次の事項に注意のうえご記入ください。

- ① 被保険者整理番号 資格取得時に払い出された被保険者証の番号をご記入ください。
- ③ 生年月日 該当する元号の番号と、年月日を下図のようにご記入ください。  
【元号】 5. 昭和 7. 平成 9. 令和  
【記入例】 昭和60年12月5日の場合
- ③ 5-601205
- ④ 改定年月 標準報酬月額が改定される年月をご記入ください。「⑨給与支給月」で記入した3か月目の翌月となります。
- ⑤ 従前の標準報酬月額 現在の標準報酬月額を千円単位でご記入ください。
- ⑥ 従前改定月 「⑤従前の標準報酬月額」が適用された年月をご記入ください。
- ⑦ 昇(降)給 昇給又は降給のあった月の支払月を記入し、該当する区分を○で囲んでください。
- ⑧ 遡及支払額 遡及分の支払があった月と支払われた遡及差額分をご記入ください。
- ⑨ 給与支給月 固定的賃金の変動が反映した月から3か月分の月についてご記入ください。
- ⑩ 給与計算の基礎日数 「月給・週給者」は暦日数、「日給・時給者」は、出勤日数等報酬(給与)支払の基礎となった日数をご記入ください。  
月給・週給者で欠勤日数分の給与を差し引く場合は、就業規則等で定められた日数から欠勤日数を除いてご記入ください。  
(注意: 基礎日数は給与支払日ではありません。)
- ⑪ 通貨によるもの 給料、手当等名称を問わず労働の対価として金銭(通貨)で支払われるすべての合計金額を記入してください。  
※ 昇給がさかのぼったためその差額が支給された場合は、その差額も含めて記入し、「⑧遡及支払額」に支給月と差額をご記入ください。
- ⑫ 現物によるもの 報酬のうち、食事、住宅、被服、定期券等、金銭(通貨)以外で支払われるものについてご記入ください。  
※ 現物によるものの額は、厚生労働大臣によって定められた額(食事、住宅については都道府県ごとに定められた価格、その他被服等は時価により算定した額)をご記入ください。
- ⑭ 総計 3か月間の「⑬合計」を総計してください。
- ⑮ 平均額 「⑭総計」の金額を3で除して平均額を算出し、1円未満を切捨ててください。
- ⑯ 修正平均額 昇給がさかのぼったため対象月中に差額分が含まれている場合は、差額分を除いた平均額をご記入ください。
- ⑰ 備考 該当する場合は、○で囲んでください。

※誤記があった場合の訂正印は不要です。訂正したことが明らかになるように訂正箇所を二重線で抹消し、正しい内容と氏名(フルネーム)をご記入ください。

### 添付書類

- 改定後の標準報酬月額が改定前と比較し、等級がさがる場合
- ※賃金台帳のコピー (昇降級のあった支払月の前月以降の4カ月分)
  - ※出勤簿のコピー (昇降級のあった支払月以降の3カ月分)
  - ※被保険者が役員の場合は、「取締役会の議事録等」のコピー